

社会技術革新学会 第8回学術総会

「技術伝承とマザー工場を支える新たなイノベーションの探求」

日時：2014年9月26日（金）（13:00～17:00）

会場：お茶の水女子大学 共通講義棟 1号館 304室
（東京都文京区大塚 2-1-1）

東京メトロ丸の内線「茗荷谷」駅より徒歩7分

東京メトロ有楽町線「護国寺」駅より徒歩8分

《開催案内》

技術革新がどのように社会変革をもたらしているか、また社会の変化がどのように技術の変化を誘導していくか、その姿を論じること社会技術革新学会は取り組んでいる。

化学産業においては最近の事故多発について企業内での経験の伝承がうまく行っていないことが指摘され、常識が世代間で通用せず、その原因として社会や教育の変化が影響していると言われている。また、技術伝承をきちっとできるようにするためのイノベーションを起こさないとマザー工場などという概念も絵空事になってしまう。

そこで、今年度の学術総会においては一般発表の他、企画テーマとして「技術伝承とマザー工場を支える新たなイノベーションの探求」を取り上げている。

また 当学会では奨励賞制度を設けて、技術や社会そして制度や人材の改革、およびそれらに係る教育の発展に資する活動を奨励している。今年度は昨年学術総会での一般発表を論文に展開した方々に奨励賞を授与する。

併せて、一般発表も行う。技術革新や社会技術に関心を有する方々が、日頃の成果や論考の結果を発表する機会として活用することを期待している。多数の方々の参加を期待する。

《プログラム概要》

開会挨拶

奨励賞伝達式

一般発表

企画テーマ：技術伝承とマザー工場を支える新たなイノベーションの探求

— 世代と国境を越えた人材育成と実践教育の構築 —

長谷川 和俊【特別講演】 千葉科学大学 教授

横山 哲夫

社会技術革新学会 事故事例研究会 幹事

山田 英雄

綜研化学株式会社 安全・環境・品質保証室 室長

新保 利弘

三菱ガス化学株式会社 生産技術部プロセス技術グループ 主席

プログラム詳細、企画テーマ概要はそれぞれ p 2、p 3 を参照下さい。

またはホームページ <http://www.s-innovation.org/> から **第8回学術総会案内** に進んでください。

★参加登録[事前登録制]：学会の会員以外の方も参加歓迎 ★参加費：無料（会員）、1,000円（非会員）

★参加希望の方は、①参加者氏名、②所属（勤務先など）、③懇親意見交換会参加有無（費用2,000円）を明記のうえ、E-mailにて申し込みください。

社会技術革新学会

〒112-8610 東京都文京区大塚2-1-1 お茶の水女子大学ライフワールド・ウォッチセンター内

(TEL) 03-5978-5096 (E-mail) jim2@s-innovation.org

■ プログラム ■

時間	議題・演題	発表者(敬称略)・所属
13:00	開会挨拶	増田 優 社会技術革新学会 会長
13:00～13:10	奨励賞伝達式	濱田 賢良、坂下 雅代、高玲、庄司 秀樹、川口 昇
13:10～13:35	一般発表	
13:10～13:35	二次電池の評価と評価装置の品質	正木 英司 東洋システム株式会社 品質保証部 検査課 主任
13:35～16:40	企画テーマ 「技術伝承とマザー工場を支える新たなイノベーションの探求 —世代と国境を越えた人材育成と実践教育の構築—」	
13:35～13:40	主旨説明 (1)「化学産業におけるリスクマネージメントを考える」 (2)「技術伝承の現場」	中島 幹 社会技術革新学会 企画運営委員長
13:40～14:55	(1)【特別講演】リスク管理の問題点について—化学産業を主体に— (発表60分、質疑応答15分)	長谷川 和俊 千葉科学大学 教授
14:55～15:10	休憩	
15:10～15:35	(2)－1 安全対策の伝承	横山 哲夫 社会技術革新学会 事故事例研究会 幹事
15:35～16:00	(2)－2 ケミカルズものづくりにおける技術伝承と人材育成	山田 英雄 綜研化学株式会社 安全・環境・品質保証室 室長
16:00～16:25	(2)－3 現場を支える本社の役割	新保 利弘 三菱ガス化学株式会社 生産技術部 プロセス技術グループ 主席
16:25～16:40	企画テーマ討論	中島 幹 社会技術革新学会 企画運営委員長
16:40	閉会挨拶	増田 優 社会技術革新学会 会長
17:00～19:00	懇親意見交換会(会費制)	

題名、発表順は都合により変更になる場合があります。

企画テーマ

「技術伝承とマザー工場を支える新たなイノベーションの探求
—世代と国境を越えた人材育成と実践教育の構築—」

取り上げた背景

化学産業においては最近の事故多発について企業内での経験の伝承がうまく行っていないことが指摘され、常識が世代間で通用せず、その原因として社会や教育の変化が影響していると言われている。また、技術伝承をきちっとできるようにするためのイノベーションを起こさないとマザー工場などという概念も絵空事になってしまう。

講演

1. 「化学産業におけるリスクマネジメントを考える」

1. 1. 【特別講演】リスク管理の問題点について—化学産業を主体に—

長谷川 和俊（千葉科学大学 教授）

重大事故多発の原因、安全文化の醸成、中小企業におけるリスク管理の3点を取り上げ、それぞれ国内規制行政のあり方、企業の歴史と社風の重要性、トップコミットメントの重要性について説明する。

2. 「技術伝承の現場」

2. 1. 安全対策の伝承

横山 哲夫（社会技術革新学会事故事例研究会 幹事）

事故事例研究会では、第Ⅰ期、Ⅱ期と様々な事故事例の原因と防止策について討議してきた。第Ⅲ期では、それらを次世代に伝承する方法をテーマとして活動を進めている。安全対策の伝承におけるイノベーションのあり方について考察する。

2. 2. ケミカルズものづくりにおける技術伝承と人材育成

山田 英雄（綜研化学株式会社 安全・環境・品質保証室 室長）

当社は光学用途、電子材料用の粘着剤、微粉体、加工製品などを製造している。多種多様な化学物質を扱うモノづくり現場における技術伝承と人材育成についての取り組みについて説明する。

2. 3. 現場を支える本社の役割

新保 利弘（三菱ガス化学株式会社

生産技術部 プロセス技術グループ 主席）

現場を強くするために本社はどう現場と向き合ったらいいのか。管理型で成果は出るのか。成果はどこが生み出しているのか。現場6ヶ所を経験し、本社でとりまとめを行なっている立場から発表する。